

市長の意見交換会<相川地区（高千会場）> 質疑要旨

日時：令和7年11月29日（土）14：00～15：00 会場：相川消防署高千出張所会議室

参加人数：35名（下記市職員は含まない）

佐渡市：渡辺市長、岩崎総務部長、北見企画部長、平山財務部長、相川支所 森川ほか5名

1. 市政について

市長より説明	<p>（説明内容）</p> <p>○人口減少の加速化、少子化、高齢化への対策としての5本柱</p> <p>①世界文化遺産登録（情報発信・交流人口拡大） ②人材創出社会（二地域居住・地域教育） ③脱炭素先行地域（脱炭素社会）</p> <p>④SDGs未来都市（生物多様性・循環型社会）⑤人口減少社会への対応（ライフラインの危機）</p> <p>○持続可能な島づくりイメージとして 1 安心して暮らし続ける島 2 人が賑わう元気な島 3 教育 4 行財政改革</p> <p>教育について…地域教育により子供たちに佐渡の事を知ってもらい、佐渡を選んでもらえる仕組み</p> <p>行財政改革について…デジタル化（AIの活用）により無駄な時間の排除、市民サービスの向上</p> <p>○効果的なダウンサイジング</p>
--------	---

2. 質疑

質問者 （居住地区）	意見の要旨	市長の回答	関係部署
（石花）	<p>家内が新潟の病院へ通院している。有料の駐車場から徒歩でどうにかエレベーター乗り場まで同行し、佐渡汽船から車椅子を借りて改札口まで連れて行っている。</p> <p>有料の駐車場からエレベーター乗り場まで距離があり、雨天時には特に大変。</p> <p>佐渡市（公用車）及び観光協会等で利用している駐車場を、病人を降ろす間10分位利用することはできないか。</p>	<p>車いす等を利用する方々が、車を近くに駐車できるように交渉している。</p> <p>現在は、車いすの方にエレベーターの所に居てもらい、車を置いてくる方法がある。駐車場の在り方は検討しているので、もう少し時間をいただきたい。</p> <p>このようなご意見をまとめて県と佐渡汽船と協議をさせていただく。</p>	建設課
（北立島）	<p>相川自然休養村管理センターの建物について、バリエードがしてあるが維持管理を今後、続けていくのか教えて欲しい。</p>	<p>相川自然休養村管理センターは老朽化で休館扱いとして消防署の施設を使用していく。</p> <p>財政改革をしながらお金を積み立て、解体する予算を確保していき、順次、緊急性の高い所から壊していくというような形で考えている。もうしばらく時間をいただければと思う。</p>	財産管理課
（千本）	<p>農業用水の保全管理を支援してもらった仕組みはないか。</p>	<p>中山間など色々な形で交付金等をもっと上げてほしいと、国・県などに要望をしている。</p> <p>保全管理など全て行くと、すべて市役所の経営になります。そこをどうするか議論をしっかりと進めていきたいと考えている。</p>	農林水産振興課 農業政策課
（小野見）	<p>市による高齢化集落支援事業、非常に有難く大変助かっている。是非、今後とも継続をお願いしたい。</p> <p>要望が1回1種類の制限があるが、支援金額内で可能な複数作業も実施できるように改善していただきたい。</p> <p>例：林道脇草刈＋林道脇雑木処理や側溝掃除等</p>	<p>高齢化集落支援事業はこのままの状態で行くことを考えている。</p>	建設課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(小田)	過疎化について何か対策はあるか。	<p>日本全国の問題で、佐渡市からの提案ではなく地域でこんなことやりたいというところがある中で、一緒に考えていくことをぜひやらせていただきたいと思っている。</p> <p>佐渡市としては、二地域居住を進めていきたいと考えている。2、3か月しか居ないので、空き家を借りてもらう。住んでみて気に入れば、集落でもその人を受け入れることが可能であれば、短期的に貸しながら、良ければ別荘のようにしてもらって住んでみるという佐渡別荘化計画がある。そういうものも含めて、移住交流推進課で、空家の調査等もしている。</p> <p>また、保育園留学を沢根保育園と羽茂こども園で始めている。これは大変気に入られて、オーストラリアの方が2年続けて来ている。ただ、貸す空家がない、外国人に貸す空家がない。そういう面も含めて地域でいろんなことを考えていくのはすごく大事ですし、ぜひ一緒に考えていきたいと思っている。その空き家を活用してどうするんだというところは、ぜひ議論しながら前に進めていきたいと考えている。</p>	総合政策課 移住交流推進課 子ども若者課
(後尾)	佐渡が文化遺産登録される前、海岸清掃でゴミがいっぱい出たが、それが今ドンデン線上がり口のところに120袋ぐらい、2年くらいに渡りどんどん置かれている。それらの処分をする計画はあるか。	県が今後処分していく予定である。	生活環境課
(北川内)	<p>漁師をしています、柏崎原発で事故が起きた場合、日本海全滅である。保障とか安全は今、論議されていますが、佐渡にも影響がかなりあると思う。市長会などで訴えていただきたい。</p> <p>また、地元には補償金は漁業者とか非常にくるが、でも我々にはまず来ない。そういった部分も広い目で見ていただきたい。</p>	絶対に起きない体制、新潟県全体にきちっと説明できる仕組みをやりながら、漁業の補償も含めて、一緒に考えていくということに今後なる。佐渡市としては、七つの項目をしっかりと国に約束をさせて国が実行すること。それが前提であるということが考え方である。	防災課
(北川内)	無人バスの実証実験をしましたが、今後は実現できるのか。	<p>中型バスに運転手が乗車し、必要に応じ手動に切り替えるレベル2で実証実験を行った。実験結果としては、道路幅が狭い区間での大型車とのすれ違いや、路上駐車を回避する際には自動運転が難しいことが判明した。このため、佐渡の道路環境に適した中型バスより小さい車両で自動運転の実証調査を検討しているが、現在、適した車両が開発中のため、車両の開発に合わせ自動運転の実証調査を再開したいと思う。</p> <p>また、運転手不足によりバス路線を維持することが難しくなっていることから、地域の方と一緒にバスをつくるのかつなぐとか、そういう形も含めて佐渡全体の交通政策をあと1年位時間をかけて、しっかり結論を出して、取り組みたいと思う。</p>	交通政策課